

令和6年度専攻科入学者選抜

海事システム工学専攻 学力検査問題

## 海上交通法

### 注意事項

- 1 検査開始の合図があるまで、この検査問題を開いてはならない。
- 2 検査問題は1枚、解答用紙は2枚である。検査開始の合図があってから確かめること。
- 3 検査開始の合図があったら、まず、解答用紙の各ページに受験番号・氏名を記入すること。
- 4 文字などの印刷に不鮮明な箇所があったときは、手を挙げて監督者に知らせること。

問題用紙 (海上交通法)

〔問題 1〕 次の ( ) 内に適する語句を記載せよ。 (計 24 点)

海上衝突予防法第 1 条 (目的)

「この法律は、( ① ) 年の海上における衝突の予防のための ( ② ) に関する条約に添付されている ( ① ) 年の海上における衝突の予防のための ( ② ) の規定に準拠して、船舶の遵守すべき航法、表示すべき ( ③ ) 及び ( ④ ) 並びに行うべき ( ⑤ ) に関し必要な事項を定めることにより、海上における船舶の ( ⑥ ) を予防し、もつて ( ⑦ ) の ( ⑧ ) を図ることを目的とする。」

〔問題 2〕 海上衝突予防法 (以下、予防法という) での用語を説明した文である。

正しいものには○を付け、間違っているものには×を付けよ。 (計 10 点)

- (1) 予防法の規定によれば、無風のため、行き足のない帆船は「航行中」である。
- (2) 予防法の規定によれば、びよう泊中の船舶に係留している船舶は「航行中」である。
- (3) 漁場から漁獲物を運搬している船舶は「動力船」である。
- (4) 機関が故障したため他の船舶の進路を避けることができない船舶は、「運転不自由船」である。
- (5) 船舶が互いに双眼鏡によって他の船舶を認めている場合は、「互いに他の船舶の視野の内にある」状態である。

〔問題 3〕 コンパス方位によって衝突するおそれがあるかないかを判断する場合、どのような場合に衝突するおそれがあると判断しなければならないか。 (計 10 点)

〔問題 4〕 追越し船の見合い関係において、追越し船はどのような航法をとらなければならないか答えよ。また、帆船が動力船を追い越す状態の場合、どちらが避航船となるか答えよ。 (計 16 点)

〔問題 5〕 各種船舶間の航法において、「運転不自由船及び操縦性能制限船」「航行中の動力船」「漁労に従事している船舶」「帆船」を、避航義務の大きいものから並べよ。また、漁労に従事している船舶を示す形象物を図示せよ。 (計 14 点)

〔問題 6〕 海上交通安全法における航路において、以下の問いに答えよ。 (計 16 点)

- (1) 航路を横断する船舶は、どのような方法で横断しなければならないか。
- (2) 航路を横断する航行が制限されている区間のある航路を 2 つ挙げよ。航路名を記せ。

〔問題 7〕 海港則法に関する次の問に答えよ。 (計 10 点)

船舶が、港内において、防波堤、ふとうその他の工作物の突端又は停泊船舶の付近を航行するときは、どのように航行しなければならないか。